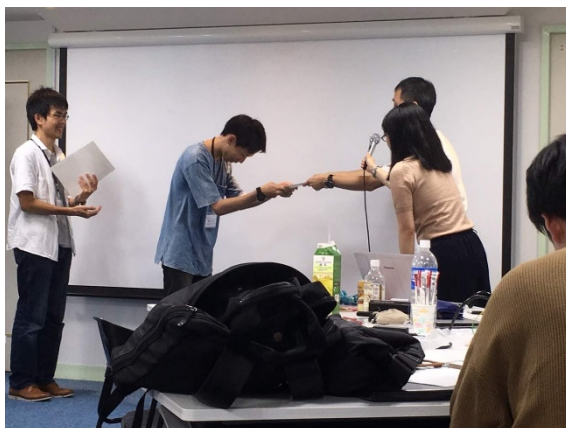


Bioengineering Hackathon in 生体医工学サマースクール 2018 において、 情報科学研究科の学生が入賞しました

大学院情報科学研究科 1年の島崎正太さん、谷昌樹さんが、2018年8月7,8日に開催された Bioengineering Hackathon in 生体医工学サマースクール 2018 において最多投票賞を受賞しました。

島崎さんと谷さんは、ハッカソン形式で美容整形外科がかかえている課題について取り組み、アイデア出し、物づくり、発表を行い、参加者の相互投票の結果、最も優れていたとして表彰されました。



生体医工学サマースクールの詳細は以下の通りです。

日本生体医工学会では、毎年夏に学生や若手研究者が一堂に会する夏のイベント、サマースクールを開催しております。本年度も昨年度に引き続き、1泊2日で参加者全員がアイデアを絞り出し、1つのテーマの解決を目指すハッカソンスタイルでのサマースクールを実施します。

今年のテーマは『アンチエイジング』です。老若男女すべての人がいずれ向き合うことになる加齢。これに伴う様々な疾患やQOL (Quality Of Life) の低下が多くの人々の悩みであり、課題でもあります。『生体医工学でアンチエイジング』をスローガンとして、サマースクールに集う生体医工学研究者と一緒にチームを作り、アイデアを出し、プロトタイプを作成を行います。

美容・形成外科・アンチエイジングの世界に潜む課題 (=ニーズ) について、ご専門の方を講師としてお招きし、ご講演いただく予定です。

Bioengineering Hackathon 生体医工学サマースクール 2018

<http://bh2018.bpe.es.osaka-u.ac.jp/>